



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 392

März 2024

特定非営利活動法人 神戸日独協会

〒651-0085 神戸市中央区八幡通2-1-20

神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部1F

TEL/FAX 078-230-8150

E-mail: info@jdg-kobe.org

URL <https://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

Bei Kobe Regatta & Athletic Club

In Isogami-Park Hachiman-Dori 2-1-20

Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

2023年度を振り返って

NPO法人神戸日独協会会長 柘田 義一

神戸日独協会にとって2023年度は激動の多忙な年であり、40余年にわたる私の会員生活でも忘れられない年となりました。

今年度会報4月号にて「協会事務所の移転」を初めて公表させていただいてから、7月の移転までは移転準備に忙殺されました。主として財政上の問題による移転でしたから、広さがほぼ半減するので、移転先へ搬入するオフィス家具等の室内備品、書籍、事務用品等々の整理・選別が先ずの大仕事でした。それに続く移転前後の梱包・開梱には会員有志の方々の多大なご協力をいただきました。改めてお礼を申し上げます。移転後にも調整・処理すべき諸問題もありましたが、小ぢんまりとした事務室兼会議室兼教室ですが、現在ではほぼ支障なく機能しています。会員の方々からは「小さくなったが、gemütlich ではないか」との声をいただいています。しかし上階体育館使用時の騒音、レストランシェフ不在による催し物でのケータリング利用等々問題点はあります。今後ともよりよい環境を目指して神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部との協議を重ねてまいります。

今年度はコロナ禍による諸制限が大幅に緩和されましたので、4月の年度初めよりドイツ語講座・ドイツ文化教室はコロナ禍以前のように対面授業にて開催することができました。コロナ禍で提供したオンライン授業も一部加わり多彩なカリキュラムを展開できました。しかし一部ネイティブ教員の未補充が半年にもわたりご迷惑をおかけしています。このコロナ禍での生活様式の変容のためか受講者が大きく減っています。カリキュラム改定などの対策を早急に講じますが、会員の皆様にはぜひとも講座にご参加いただくとともに、ご家族・ご友人らに講座・教室をご案内していただきたく願います。

「会員サークル」は特に移転後には活発に活動を行っています。嬉しいことに会員外のご参加が増えています。神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部は伝統ある国際交流団体ですので地の利を生かして、新たな国際交流活動を企画・実施していく所存であります。

今後とも会員皆様のご協力とご支援をいただきたくお願い申し上げます。

予告

2024年度通常総会の開催

2024年度の通常総会を下記のように開催します。

詳しくは会報4月号にてお知らせしますが、ご予約にお入れください。

なお、総会資料は5月上旬に別便にてお送りします。

日時：2024年5月19日(日)16:00～17:00

会場：神戸リガッタ倶楽部ホール

総会后、同所にて「会員親睦会」を開催します。

ドイツ語講座・ドイツ文化教室2024年度第I期開講

神戸日独協会ドイツ語講座・ドイツ文化教室は2024年度第I期を4月8日(月)より開講します。

67年の長い伝統を持つドイツ語講座は、受講者の多用な学習目標やニーズと様々な学習歴などに応じるように多彩なクラスを提供しています。

ドイツ語学習活性化のために従来の「入門→初級→中級」と段階的なクラス編成に加えて、コース群に基づいた多様なカリキュラムを実施しています。

コース群：

1. 基礎コース (ドイツ語はまったく初めての方のクラス)
2. 一般コース (入門から初級後期へと段階的に会話と講読を学ぶコース)
3. テーマコース (テーマに基づいて学ぶ初級後期・中級者向けコース、時事ドイツ語・会話・文学講読など7クラス)
4. オンラインコース (Zoomによるコース)
5. 特設コース (高校生のためのドイツ語入門クラス)
6. 特別講座 (通常の授業とは異なる観点からドイツ語に関するトピックを取り上げ、ドイツ語に対する関心・興味・理解を深める講座。随時開催)

各コースの授業内容については、講座案内をご覧ください。

長きに渡ったコロナ禍も一応収束し、国際交流は活発化しています。ドイツ語圏の人々との交流、ドイツ語圏への観光、留学等々、ドイツへの思いを強くなさっていることでしょう。その思いを実現させるためにも、ドイツ語を学び始めませんか。また目標に合わせてドイツ語のブラッシュアップをしませんか。

新年度の始めに心機一転して、ドイツ語に挑んで楽しみましょう。奮っての講座へのご参加をお待ちしています。

主催行事

ドイツ総領事館開館150周年イベント協賛のご案内

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館は開館150周年にあたり5月中旬に大阪中之島美術館で周年記念行事を企画しています。イベントの一環として、総領事館と関西および西日本との長年にわたる結びつきを、芸術と音楽で創造的かつ象徴的に表現したいと考え、3名のアーティストとのコラボレーションによるアートインスタレーション「カラフルなゴム紐でみんなつながりましょう」というプロジェクトを企画しています。総領事館から送られたゴム紐で実施要領に沿ってお互いの身体を結び、できあがったものを総領事館へ返送するというものです。できあがったゴム紐は、総領事館とその大切なパートナー機関との緊密な関係を象徴する大きなネットとして、その後、美術館内でアーティストによって繋がれます。神戸日独協会はこのイベントに協力しますので、ぜひとも皆様にもご参加いただきたくお願い申し上げます。

記

日 時 : 2024年4月13日(土) 14:00~15:00

会 場 : 神戸日独協会

参加条件 : 特になし

募集人数 : 5~30名 (準備の都合上、事前予約制)

参加費 : 無料

申込締切 : 4月8日(月)

申込先

メール

info@jdg-kobe.org

TEL

078-230-8150(月~金14~17:00)

横浜日独協会との交流会

我々の協会と親交の深い横浜日独協会の会長、副会長をはじめ会員の方々約20名が7月上旬に坂東俘虜収容所跡などの見学で神戸にいらっしゃいます。

現在いただいている日程は、7月2日(火)横浜出発、京都見学後夕刻に神戸着。同夜神戸日独協会との交流親睦会、神戸泊。7月3日(水)朝マイクロバスにて神戸発。坂東俘虜収容所跡、鳴門市のドイツ館や阿波踊り会館も訪問予定。夕刻徳島空港発とのことです。

協会ではこの機会に、交流親睦会のみならず、徳島へも同行し横浜の皆様と親睦をさらに深めたいと思います。

まだ徳島行については最終的な日程と参加費など未決定ですが、マイクロバスなどの関係上徳島への同行を希望される方は予めお申し出ください。弊協会が坂東俘虜収容所を見学して以来10数年が経っていますので、未だ同所を見学していない方はぜひともご参加ください。

より詳しい情報が入り次第、会報やホームページ等でお知らせします。

■交流親睦会

日 時 : 2024年7月2日(火) 18:30~
会 場 : ステーキ&ビアレストラン「ロイン三宮店」
会 費 : 6500円(予定)

■坂東俘虜収容所等徳島見学

日 時 : 2024年7月3日(水)(集合時刻及び帰神時刻未定)
見 学 地 : 坂東俘虜収容所跡、ドイツ館、阿波踊り会館等
参 加 費 : 未定
申込締切 : 4月15日(月)

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL	078-230-8150(月~金14~17:00)
-----	-----	-------------------	-----	---------------------------

ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

4月は、3月に引き続き Heidenröslein (Sah' ein Knab' ein Röslein stehn 野薔薇 シューベルト)、Trink, trink, Brüderlein trink (飲めよ、友よ)、An die Freude (歓喜の歌、ベートーヴェン 交響曲第9番第4楽章で歌われる第一主題)を歌います。

講 師 : 岩島 佳子さん

日 時 : 2024年4月6日(土) 13:30~15:00

場 所 : 神戸リガッタ倶楽部

参 加 費 : 2000円

参加条件 : 会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方もぜひご参加ください。

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL	078-230-8150(月~金14~17:00)
-----	-----	-------------------	-----	---------------------------

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

昨秋より手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めて参加の方はマグカップや小皿に、継続参加の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。ご参加をお待ちしています。

講師：堀田真美子さん
日時：4月28日(日)14:00~16:00
場所：神戸日独協会
会費：初心者1000円、継続者3000円（材料費+窯焼き代+道具使用料）
参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL	078-230-8150(月~金14~17:00)
-----	-----	-------------------	-----	---------------------------

第232回 ドイツ語談話室

日時：2024年2月17日(土) 14:00~16:00

場所：神戸日独協会

テーマ：気候変動と環境保護

今回の司会は原田耕作氏が担当し、テーマについて話した。環境保護に関しては、CO2ガスの低減が最も重要課題であるが、日本の企業の取り組みはまだとても低いレベルである。かつてのドイツ首相であったメルケル氏も、日本の企業の取り組みはまだ10年以上遅れていると指摘された。我々個人としても、この問題にどのような貢献ができるのか考えたい。

以下に参加者の皆さんの発言の一部を紹介する。

- 日本では大手電力会社7社が独占をされていて事実上競争がないので、環境問題に対して十分な努力がなされていない。このため、再生可能エネルギーによる発電の普及がヨーロッパに比べて大きく遅れている。
- ドイツでは一般に建物の断熱が非常に効率よく施されていて、エネルギーの節減に大きく貢献している。
- ドイツでは今多くの移民の流入のため、各地で大問題になっている。一つの例が、各地の小中学校では移民の子供たちの教育問題で、教員の不足も相まって、カオス状況になっており、環境問題どころではない。
- 日本では1960年代に公害問題が発生し、その後空気の清浄化が進んだ。一方、2000年代になると気候変動で温暖化が進み、自然破壊も目立つようになった。
- カーボンニュートラルの目標は、世界各国の間で具体的な対策が考えられているが、まだまだその実現は難しい。
- 原子力発電に替わる将来のエネルギー、核融合発電の実現が早期にできることに期待する。
- 私たちの周りを見ると、多くの無駄や不要なものがあるように思う。例えばあまり利用されていない立派な道路が各地にある。これらは多くの労力と建設資材を無駄にしている。私たちの身の回りにこうした無駄がないか、良く検討すべきだ。
- 鉄道、バス、飛行機、他の交通手段は多くのエネルギーを使い、CO2ガスの削減に逆らっている。できるだけ旅行は控えるのが良い？
- ドイツでは炭素税が導入されて、多くの企業がCO2ガス削減に努力している。
- ドイツには多くの風力発電設備があるが、今その騒音が多くの問題を引き起こしている。

— ヨーロッパ各国には環境活動家のグループが多く活動しており、時には公道を封鎖するなど、過激な動きもみられる。果たして彼らの活動は人々の意識に変化をもたらすのか、単なる迷惑行為で終わるのか。

今後のドイツ語談話室の予定

第234回 2024年4月20日(土) 14:00~16:00 テーマ : 決済システム

Protokoll der 232. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 17. Februar 2024, 14 bis 16 Uhr.

Thema: Klimawandel und Umweltschutz

Dieses Mal hatte Herr Kosaku Harada die Gesprächsleitung und sprach über das Thema der diesmaligen Runde, den Klimawandel und den Umweltschutz. Das wichtigste Thema im Hinblick auf den Umweltschutz ist die Verringerung der CO₂-Gase, aber die diesbezüglichen Anstrengungen der japanischen Unternehmen sind noch sehr gering. Selbst die ehemalige deutsche Bundeskanzlerin Angela Merkel wies darauf hin, dass die japanischen Unternehmen in ihren Bemühungen noch immer mehr als zehn Jahre im Rückstand sind. Wir als Einzelpersonen sollten darüber nachdenken, wie wir unseren Beitrag leisten können.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

-In Japan haben die sieben großen Energieversorgungsunternehmen ein Monopol und es gibt praktisch keinen Wettbewerb, so dass nicht genügend Anstrengungen unternommen werden, um Umweltfragen zu lösen. Die Folge ist, dass die Verbreitung erneuerbarer Energiequellen weit hinter der in Europa zurückbleibt.

-Die Gebäude in Deutschland sind im Allgemeinen sehr effizient gedämmt, was erheblich zur Energieeinsparung beiträgt.

-In Deutschland gibt es jetzt in vielen Teilen des Landes ein großes Problem aufgrund des Zustroms von Einwanderern. Ein Beispiel sind die Bildungsprobleme von Migrantenkindern in den Grundschulen vielerorts. In Verbindung mit Lehrermangel kann es mitunter zu chaotischen Situationen an Schulen kommen. Umweltprobleme treten da leicht in den Hintergrund.

-In Japan war die Luftverschmutzung in den 1960er Jahren ein Problem, danach wurde die Luftqualität verbessert. In den 2000er Jahren hingegen führte der Klimawandel zu einer globalen Erwärmung, und die Zerstörung der Natur wurde immer deutlicher.

-Obwohl in Ländern auf der ganzen Welt konkrete Maßnahmen zur Erreichung des Ziels der Kohlenstoffneutralität erwogen werden, ist es nach wie vor schwierig, dieses Ziel zu erreichen.

-Wir erwarten viel von der Entwicklung einer neuen Energiequelle, der Kernfusionsenergie, als Alternative zur Kernkraft, und hoffen, dass diese bald Realität wird.

-Eine Teilnehmerin wies darauf hin, dass es viel Verschwendung gibt. Zum Beispiel wurden in vielen Teilen des Landes große Straßen gebaut, die jedoch kaum benutzt werden. So wird Arbeitskraft und Baumaterial verschwendet. Wir sollten unsere Umgebung sorgfältig auf solche Verschwendung hin untersuchen.

-Eisenbahnen, Busse, Flugzeuge und andere Verkehrsmittel verbrauchen viel Energie, was die Emission von CO₂-Gasen erhöht. Es wäre für die Umwelt am besten, Reisen so gut wie möglich zu vermeiden.

-In Deutschland wurde eine Kohlenstoffsteuer eingeführt, die viele Unternehmen dazu zwingt, ihre CO₂-Emissionen zu verringern.

-Außerdem gibt es in Deutschland viele Windkraftanlagen. Bei diesen wird jedoch die Lärmbelästigung zum Problem.

-In den europäischen Ländern gibt es viele Umweltaktivisten, manche neigen zu extremen Aktivitäten, wie z.B. dem Blockieren öffentlicher Straßen etc. Die Frage ist, ob sie damit einen Bewusstseinswandel in der Bevölkerung bewirken, oder eher nur zu Verärgerung führen.

Nächste Treffen:

Samstag, 20. April 2024, 14 bis 16 Uhr. Thema: Zahlungsmittel

ドイツ文化サロン

次回は5月の開催予定です。次号にてご案内します。

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。今月は休載です。

投稿規定 : 1000字程度(字数を厳守)

MSPゴシック12ポイントの添付データ(ワード)にて毎月第4月曜までにメールにて

4月の企画委員会

この会は協会と会員との交流のための会です。昨年8月より会員の参加を得て、協会の事業について種々の企画のご提案をいただき、協会の活動は活発化しています。ぜひとも参加し、協会の運営や企画などにご意見をください。

日時 : 2024年4月13日(土) 15:00~17:00

場所 : 神戸日独協会

話題 : 新年度の事業予定、協会の発信、会報について。

※ご出席いただける方は、メール・電話にてご連絡ください。当日参加も可。

会報ボランティア募集

次回の印刷と発送は4月26日(金)の予定です。ご協力をお願いします。

印刷 : キンコーズ三宮店(神戸市中央区雲井通4-2-2マークラー神戸ビル)10:30~

発送 : 神戸日独協会にて、12:00~

お手伝いいただける方は事前にご連絡ください。

行事等の写真について

会報には誌面の都合上、写真等は掲載できませんが、ホームページ・SNSでは閲覧いただけます。

 ホームページ Homepage	 インスタグラム Instagram	 X Twitter
---	---	---

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切
4月6日(土) 13:30~15:00	ドイツ歌声サロン	神戸リガッタ倶楽部	4月3日(水)
4月13日(土) 14:00~15:00	ドイツ総領事館開館150周年 イベント協賛	神戸日独協会	4月8日(月)
4月13日(土) 15:00~17:00	企画委員会	神戸日独協会	当日参加可
4月20日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会	当日参加可
4月28日(日) 14:00~16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会	4月24日(水)